



教育目標：よりよい未来を創り出そうとする児童の育成

～なりたい自分・仲間・学校になるためにチャレンジ～

東陵小だより

発行者 校長 深澤 弘美



3学期が始まりました



旧年中は、多くのご支援、ご協力を賜り、本当にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いたします。

さて、今週から3学期が始まりました。今年の年明けは雪もなく穏やかな始まりであったかと思えます。冬休みが終わって残念だと思っている子も多いようでしたが、3学期のスタートも元気な挨拶・笑顔から始められたことを嬉しく思います。

始業式 校長講話

今日から3学期の始まりです。皆さんは、3学期をどんな学期にしたいですか。校長先生からは、こんな3学期にしてほしいということを2つ話します。

1つは、「目標に向かって努力する3学期にしてほしい」ということです。2学期の終業式に「努力のつば」という話をしたのを覚えているでしょうか。努力を続けていくと、努力のつばがいっぱいになって目標を達成できるという話です。努力のつばをいっぱいにする様子をイメージしてみました。例えば、1日10分の読書を50日続けるとします。皆さんが3学期学校に来る日は、丁度50日あります。その50日の間に毎日10分ずつ読書を続けると、50日では500分つまり8時間20分になります。1年間続けると3650分でなんと61時間にもなります。たった1日10分でも全く読書をしない人とする人では、こんなに読書量が違ってきます。「本を読む力をつける」という努力のつばをいっぱいにするためには、1日少しの努力が欠かせません。野球をしている人だったら、1日30回素振りの練習をすると、3学期の間で、1500回、1年間では10950回にもなります。「継続は力なり」という諺がありますが、数字で考えると、続けることの大切さがよくわかります。「努力は人を裏切らない」という言葉もあります。目標に向かって努力をし、自分が成長していくことを努力のつばをいっぱいにすることを楽しめる子になってほしいと思います。

2つ目は、1年前の始業式にもお話をしたことの繰り返しになりますが、3学期を「新しい学年の0学期」にしてほしいということです。まずは、6年生。6年生は、中学校に向けての0学期です。中学校という新しい環境の中で、自分の人生を一步進めることになります。6年生の3学期は47日間です。精一杯自分の力を高める47日間にしてください。次は、5年生。6年生からバトンを引き継いで、いよいよ学校のリーダーになります。今の6年生の様に下級生に慕われる、頼られる6年生になるために50日の間に自分を更に高めてください。4年生は、いよいよ高学年の仲間入りです。自分のことだけでなく、みんなのことも考えられる高学年になって欲しいと思います。3年生は、4月からは小学校6年間の後半が始まります。高学年と同じ活動も始まります。教わるだけでなく、自分から考え、より良い行動ができる力を付けていってほしいと思います。2年生、4月に3年生になると、新しい勉強が始まります。社会や理科、総合、外国語です。今の2年生の勉強をしっかり身に付けておいてください。

そうすると、自信を持って3年生のスタートが切れると思います。そして1年生。4月から新しい1年生が入学します。新しい1年生を迎える準備の学習も始めていると中松先生と嘉野先生から聞いています。入学してくる1年生に東陵小学校のことをたくさん教えてあげられるように、3学期はまだ知らないことをたくさん勉強しておいてください。3学期の皆さんの頑張りを期待しています。

書き初めの会

3学期初日は、「書き初めの会」をしました。冬休み中にたくさん練習してきた様子がうかがえました。どの子ども、真剣に良い作品作りに取り組んでいました。

